



Royal Institute of Art

スウェーデン王立美術大学

人間総合科学研究科芸術専攻(版画) M1 佐藤瑞季

1.留学について

▼目的

- ・版画の制作・研究
- ・一度つくばを離れたかった

▼時期

2016.8.31 ~ 2017.6.4
(滞在期間は2016.8.24~2017.6.29)

▼奨学金

筑波大学基金「開学40+101周年記念基金」海外留学支援事業
(1ヶ月10万円支給、渡航費5万円補助)

▼滞在先

スウェーデン王立美術大学が準備している学生宿舎
※2017年夏まで...

2.事前準備

▼ビザの取得

2月 入学許可証

5月 海外留学保険(AIU)

5月 貯金残高証明書(100万円程度で確実)

+パスポート

6月初旬 ビザの申請 → 6月16日 仮居住許可書

※6月中旬～夏休みが始まるので早めの申請を！

▼航空券

7月 FIX/OPEN チケット 14万程度

(12ヶ月以内 帰国の日付のみ2回変更可)

※旅行シーズンなので片道で買うと結構高いです

3.留学先での活動

▼授業

- ・集中授業形式、コマ割りではない
- ・学期で1～5個の授業を取ることが出来る(抽選有り)
- ・単位の変換は難しい

▼Professor Group

- ・professor を中心に作品の講評、ディスカッション、ワークショップ、外部アーティストのレクチャーなど
- ・開催頻度は月1～3回程度まで様々

▼アトリエ

- ・学校内、学校近辺、学校から離れた場所

▼単位交換する予定無し、版画の授業を中心に受講予定

《4.事件勃発》

▼版画と写真の工房が火事に遭う



5.学校の対応

▼11月末 オスロ国立芸術大学での学外演習

※大学から5万円程度の補助

▼11月末～Konstfackの設備を使用できるようになる

※ストックホルム市内の美術大学

▼11月～Lithografiska Museetを週1回木曜日に使用

※ストックホルム郊外のリトグラフ工房

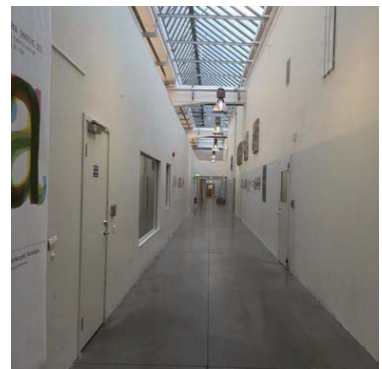
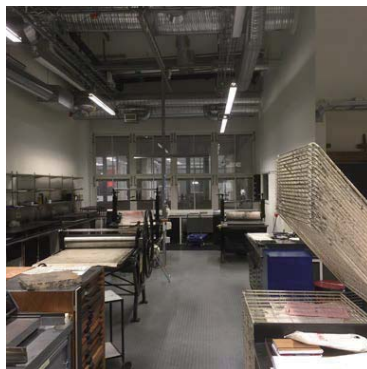
6.留学を終えて

- ▼火事の影響を受けて出鼻を挫かれる
...冬の暗さも相まってしばらく憂鬱な日々
※大学の移設問題も絡みさらに混沌が深まる
- ▼「できること」と「できないこと」の気持ちの切り替え
- ▼版画の制作は十分には行えなかったが、professor groupでの活動や現地の人々との交流から学んだことも多い
- ▼日本よりゆるやかに移り変わる四季や自然物の形態が自身の作品に良い影響
- ▼展示は2回程（学園祭、卒業制作展）

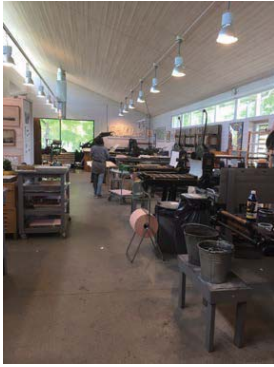
▼アトリエ(117)



▼Konstfack



▼Litografiska Museet



▼オスロ国立芸術大学

